

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		ホテルの里づくり事業費 [ホテルの里づくり事業]							
予算科目	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 7	環境保全費	事業番号	4	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	環境 課			環境公害 係		課長名	下村 和郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全						総合計画書(ページ)	99		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民			→人口 85,337人(平成31年4月1日時点)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	飼育したホテルの幼虫を野火止用水のせせらぎに放つことによって、ホテルが用水に定着し、自然に繁殖し、市民に親しまれる自然環境の場となるようにする。			→観察されたホテルの数					
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	野火止用水のせせらぎにおいて、ホテルが生息できる環境を目指すため、室内及びせせらぎでホテルの飼育増殖を行い、また、せせらぎの環境整備に努めた。			→放流したホテルの幼虫数					
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337			
	成果指標	②の数値	匹	26	52	0			
	目 標	②の目標値	匹	50	50	50	50	50	
目標値設定の考え方 極力、自然の状態でホテルが生息できるようにする。									
3 経費	事業費(実績)		円	711,039	727,762	752,672	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	711,039	727,762	752,672			
		特定財源	円	0	0	0			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	50.0	50.0	50.0			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	210,000	210,000	215,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	921,039	937,762	967,672				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成5 年度						
	(2) 環境の変化		この事業は専門性が高いことから、専門知識のある作業専従者に委託し、継続事業としている。 近年は、より自然環境の重要性が問われており、国も生物多様性の問題について法整備を進めており、市町村の係わり方が重要視されている。						

事業名称	ホタルの里づくり事業費 [ホタルの里づくり事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ホタルの里づくり事業は、市議会からも要望が出されてきた経緯がある。 平成31年度も、テレビ、新聞社等からの取材依頼、市民からの問い合わせ等があり、関心度が高いことがわかる。 ボランティアやホタルの会の方々も積極的に協力している状況がある。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法： ③事業協力 ⑥情報提供・情報交換		
<input type="checkbox"/> 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 トウキョウサンショウウオを飼育している小学校に飼育者が訪れて飼育指導や授業を行ったり、学校で育てたトウキョウサンショウウオの幼体を生息地に放流している。 今後は、ホタルについても同様の取組を模索したい。			
	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） ① 環境への意識啓発と次世代に引き継ぐべき自然環境を保全しなくてはならない。 ② 自然環境を守り育て、次世代に引き継ぐことが大切であり、各種環境団体や市民と協力し、啓発活動を通して人材育成をする必要がある。 ③ 野火止水の水質・水温がホタルに適さない状況にあり、改善が必要である。 ④ 子どもなどがせせらぎに入水し、荒らされてしまう事案が多数あり、対応に苦慮している。 ⑤ ホタルの飼育を委託している方が高齢なため、すぐにも、後継者を探さなくてはならない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ③については、下水道の高度処理水を活用していることから、水質、水温の改善は難しい。 ④については、ホタルの飼育地であるが、当初、水辺に親しむことを目的に流水路、遊歩道を整備したことから、子どもたちへの対応は難しいものがある。 ⑤については、適当な後継者候補が、事業を継続することになった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ① 環境への意識啓発と次世代に引き継ぐべき自然環境を保全しなくてはならない。 ② 自然環境を守り育て、次世代に引き継ぐことが大切であり、各種環境団体や市民と協力し、啓発活動を通して人材育成をする必要がある。 ③ 野火止水の水質・水温でホタルを継続的に飼育していく方法の検討が必要である。 ④ 「子どもたちの水辺に親しむ場」と「ホタルの里」が共存できるように周知、啓発が必要である。 ⑤ ホタル飼育の後継者が、現在の飼育者の知識を引き継げるように、支援が必要である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 環境の保全 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 後継者ができたため、今後も事業を継続していく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			